

北九港&空 NEWS

2020
SUMMER
Vol.21



イベント報告

担い手育成活動 現場見学会

建設業界においては、建設産業における将来の担い手の確保・育成をはかる「担い手育成活動」が盛んに行われています。
令和2年7月30日(木)、北九州空港島内で消波ブロックを製作している建設会社が、西日本工業大学の学生8名を対象に、担い手育成活動として現場見学会を行いました。
現場を見る前に大型モニターでクレーンカメラの映像を視聴してから、現場を見て実際にコンクリートの打設体験をしました。生徒さんからは「実際の打設体験は初めてだったのでとてもいい経験になった」などの感想を頂きました。



▲コンクリート打設体験中

ニュース(NEWS)

貨客船「はくおう」が西海岸より出港

令和2年7月20日(月)北九州市門司2号岸壁に「はくおう」が接岸しました。「はくおう」は防衛省のチャーターする貨客船です。1996年から新日本海フェリーがカーフェリー「すずらん」として運用されていましたが、2012年に運行を終了し、その後は自衛隊用船として契約されました。現在は、災害時などの自衛隊派遣、被災地での宿泊所として、さらに今年1月新型コロナウイルス流行時の一時帰国者停留場所として運用されています。
この度、7月の豪雨災害復旧のために被災地に派遣されていた陸上自衛隊北海道岩見沢駐屯地の約100台のトラックが活動を終え、北九州港から「はくおう」により帰路につきました。



貨客船「はくおう」



埠頭に集結する陸上自衛隊のトラック

ロシアへの中古車輸出開始!

令和2年7月9日(木)新門司北9号岸壁に新たにイースタンカーライナー株式会社(ECL)の自動車専用船が定期就航(約3便/月)しました。新門司から千葉県木更津を経由して、ロシアへ1便約650台の中古車を輸出します。現在は、新門司航路の水深が暫定-8mのため船長119mの船船が就航していますが、大型船舶の導入を要望されていますので、当事務所も航路水深の-10m化を着実に進めていきます。



北九州市港湾空港局より提供

国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所

〒801-0841 福岡県北九州市門司区西海岸1-4-40
TEL(093)321-4631 FAX(093)322-1007
Webアドレス <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kitakyusyu/>



九州地方整備局では、平成29年7月より、各施設を管理する事務所等でインフラカードを無料配布(全65種類)。各配布施設等に来所すると1人1枚無料で入手できます。



▽特集

・北九州港「新門司フェリーターミナル」

▽ニュース(NEWS)

・貨客船「はくおう」が西海岸より出港
・ロシアへの中古車輸出開始!

テーマ ～北九州港「新門司フェリーターミナル」

「新門司フェリーターミナル」とは...

西日本最大級の国内フェリー基地であり、東京・徳島から1日1便、神戸・大阪から1日4便の長距離フェリーが阪九フェリー(株)、オーシャントランス(株)、(株)名門大洋フェリーの3社により運航されています。近くには九州自動車道の新門司インターチェンジや北九州空港、太刀浦コンテナターミナルがあり、利便性が高いため、北部九州の物流の拠点となっています。また、(株)名門大洋フェリーのりば横の岸壁は「耐震強化岸壁」となっています。この岸壁は地震が発生した際の緊急物資の輸送などを目的として耐震性を高めた岸壁です。南海トラフ地震など大規模な災害の発生が懸念される昨今、地域にとって不可欠な岸壁となっています。



北九州～横須賀航路が新規開設

津村島の南側で新たな岸壁工事が行われています。深さ8m、長さ230mの岸壁で東京九州フェリー(阪九フェリーなどのSHKライングループの新社)が来年7月に就航予定です。北九州～横須賀を結ぶ976キロメートルを約21時間で結び、日曜日を除く週6便で運航します。



新門司でフェリーを運航している阪九フェリー(株)、オーシャントランス(株)、(株)名門大洋フェリーから新型コロナウイルス感染拡大防止対策やフェリーの魅力についてPRをしていただきました！安全で快適なフェリーをご利用下さい！



阪九フェリー(株)

阪九フェリーでは、お客様が安心してご利用頂ける様、感染症対策を実施しています。各港窓口及び売店、各船レストラン及び売店の床にフィジカル・ディスタンスを取って並べるよう、床に待機場所を示すサインを貼ったり、椅子やテーブルに間隔をあけて座るよう、に張り出したりする等の対策を取っております。停泊中は扉を開け消毒・清掃、換気を行い、航海中の船内は『ビルマルチエアコンシステム』を採用し、外気を取り入れ空気の入換えを20分毎(※大部屋タイプ)で行っており、換気を徹底しています。各港窓口、売店及び船内レストラン、案内所、売店に仕切りを設置して飛沫防止対策を行っております。各港及び船内各所にアルコールを設置し、手指の消毒の徹底をお願いしております。また、洗面台のある客室には、ハンドソープ、手指消毒用のアルコールを設置等、感染症予防対策に努めております。10月には、スタンダード和室、2等客室等の大部屋に強力な紫外線で室内の空気を除菌する『エアリアコンパクト』を導入する予定です。大部屋も安心してご利用頂けます。今年3月と6月に新造船が就航しており『GoToトラベル』対象施設となっていますので、是非この機会にご利用ください。

オーシャントランス(株)

令和2年7月豪雨により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。現在弊社では、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、各ターミナル内・船内で様々な対策を実施しながら(ホームページで詳細をご案内しております)北九州(新門司)-徳島-東京(有明)間をほぼ毎日運航しております。客室は『シンプル』をコンセプトに、相部屋においては階段式の2段ベッドタイプでプライバシーに配慮した造りになっており、個室においては3名部屋・4名部屋・ペットと一緒に旅ができるWITHペットルームを準備しており、すべての個室からオーシャンビューが楽しめます。共有スペースには、海を見ながらリラクゼーション出来る大浴場・お風呂上がりにおくろぎ頂けるリラクゼーションスペース・その他船の前方からの景色をお楽しみいただけるフォワードロビー・お子様向けキッズルーム等を設けております。お食事は自動販売機のみとなりますが、24時間お召し上がり頂けます。長距離フェリーは航海時間が長く退屈なイメージをもちますが、日常を忘れ太平洋の旅に出てみませんか？日中は展望デッキに出ると陸上では味わえない最高の景色が楽しめます。皆様のご乗船を心よりお待ちしております。



(株)名門大洋フェリー

大阪南港～新門司港間でフェリーを運航する株式会社名門大洋フェリーでは、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、全従業員の健康管理、ご乗船されるすべてのお客様を対象とした体温測定、定期的な船内消毒、空気循環、営業定員の縮減など、お客様に安心してご乗船頂けるよう様々な取り組みを実施しています。これらの取り組みに加え、弊社全船舶にウイルスや細菌を持続的に減少・抑制させる無機溶剤を、船内でお客様が手を触れられる箇所を始め、客室内、レストランのテーブル、椅子など船内全体に抗菌剤を噴霧することにより耐久性の高い抗ウイルス・抗菌加工を実施しました。また、エコノミー(2等和室)ではできる限りお客様同士の空間を広くとって頂けるよう、通常のお席お二人分を空席にして距離を空けて販売していましたが、更にそれぞれの間隔にロールスクリーンカーテンを設置しました。これからもお客様に安心してご利用頂けるよう様々な取り組みを講じて参ります。

